

(案) 京都学園大学・京都先端科学大学同窓会会則の一部改正について

1 提案理由

現状の同窓会組織に則した運営体制を確立するとともに、相次ぐ私立大学の不祥事に伴い令和5年2月17日に閣議決定された「私立学校法の一部を改正する法律案」によるガバナンス改革等に対応するため。

2 改正の主な内容

会員数3万8000名を有する団体に応じた運営組織に改め、ガバナンスを強化し、また、関係機関へのコンプライアンスに迅速に対応するため、次の内容で改正する。

- (1) 議決権のない監事に財務のみならず、新たに業務執行の状況も監査させることで、ガバナンスの強化を図り、不祥事の防止に努める。
- (2) 役員構成において、選任される理事について、現状に則した会則に改める。
- (3) 役員解任について定める。
- (4) その他、改正にともなう整合性を図るため、関係条文を改正する。

3 会則の主な改正点 (全文別添資料参照)

(1) 目的

令和元年4月に京都先端科学大学へと校名を変更された際、同窓会名称とともに本条についても変更を行いましたが、京都学園大学の発展という表現は適切ではないとのご指摘もあることから、「総称名」制定時にもご意見があったように、二つの母校への想いを繋ぐため、大学名を入れることなく、自身の卒業した学校名に想いを馳せるような形に変更したものを。

| 現行 | 改正案 |
|--|--|
| (目的) 第2条 本会は、会員相互の親睦を図ると共に、 <u>母校京都学園大学及び京都先端科学大学</u> の発展に寄与することを目的とする。 | (目的) 第2条 本会は、会員相互の親睦を図ると共に、 <u>母校の発展</u> に寄与することを目的とする。 |

(2) 役員構成

現状と整合性の取れていなかった部分について改め、新たに役員兼任についての規定を設けたもの。

| 現行 | 改正案 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| (役員構成) 第8条 本会に、次の役員をおく。 (略) | (役員構成) 第8条 本会に、次の役員をおく。 (略) |
| (3) <u>理事</u> 若干名 | (3) <u>会計理事</u> 2名 |
| (4) <u>常任理事</u> 若干名 | (4) <u>理事</u> 原則、各学年1名ないし |

| | |
|--|---|
| <u>(5) 会計理事</u> 2名 (略) <u>(追加)</u> | <u>2名</u> <u>(5) 常任理事</u> 若干名 (略) <u>2 役員は本会及び支部の役員を兼任することとはできない。ただし、前項第4号及び第7号を除くものとする。</u> |
|--|---|

(3) 役員を選出と職務

議決権のない監事に財務のみならず、新たに業務執行の状況も監査させることで、ガバナンスの強化を図り、不祥事の防止に努めるもの。

| 現行 | 改正案 |
|--|--|
| (役員を選出と職務) 第9条 役員を選出及び職務は、次の各号のとおりとする。 <u>(1) 会長は、理事のうちから選出し、この会を代表し会務を総括する。</u> <u>(2) 副会長は、理事のうちから会長が委嘱し、会長事故あるときは会務を代行する。</u> <u>(3) 理事は原則、各年次の卒業生のうちから選出し、この会の会務を決議する。</u> <u>(4) 常任理事は、理事のうちから選出し、この会の会務を執行する。</u> <u>(5) 会計理事は、理事のうちから選出し、この会の財務を管理する。</u> (6) 監事は、会長が委嘱し、 <u>この会の財務を監査する。</u> (略) | (役員を選出と職務) 第9条 役員を選出及び職務は、次の各号のとおりとする。 <u>(1) 理事は原則、各年次の卒業生のうちから選出し、この会の会務を決議する。</u> <u>(2) 会長は、理事のうちから選出し、この会を代表し会務を総括する。</u> <u>(3) 副会長は、理事のうちから会長が委嘱し、会長事故あるときは会務を代行する。</u> <u>(4) 会計理事は、理事のうちから選出し、この会の財務を管理する。</u> <u>(5) 常任理事は、理事のうちから選出し、この会の会務を執行する。</u> (6) 監事は、会長が委嘱し、 <u>次の職務を行う。</u> <u>ア 財務を監査する。</u> <u>イ 業務執行の状況を監査する。</u> <u>ウ 監査の結果、不正の疑いのある事項を発見したときは、直ちに会長に報告し、常任理事会の招集を求める。</u> (略) |

(4) 役員解任

「役員を選任及び解任に関する事」と規定されているが、会員資格の喪失のような細かな規定がされていなかったことから、新たに規定したもの。

| 現行 | 改正案 |
|----------------------|---|
| <p><u>(新規追加)</u></p> | <p><u>(役員解任)</u></p> <p><u>第11条 役員が、次の各号のいずれかに該当するときは、常任理事会において、常任理事の議決により、会長がこれを解任することができる。この場合、その役員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。</u></p> <p><u>(1) 心身の不調のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。</u></p> <p><u>(2) 職責上の義務違反、その他役員としてふさわしくない行為が認められるとき。</u></p> |

(5) 総会

これまで、定時総会は、毎年1回開催するものとして規定していたが、コロナ禍で開催できない事態が発生したことから、新たに規定するもの。

東海・東南海・南海地震については、今後30年以内の発生確率が非常に高いとされており、また、天然痘、ペスト、コレラ、スペインかぜ、新型コロナのような感染症によるパンデミックは、歴史的に見ても繰り返されてきました。これらの予測できない事態に対応できるよう変更する必要があると考えたもの。

| 現行 | 改正案 |
|--|---|
| <p>(総会)</p> <p><u>第16条</u></p> <p>(略)</p> <p><u>(新規追加)</u></p> | <p>(総会)</p> <p><u>第17条</u></p> <p>(略)</p> <p><u>7 大規模災害その他のやむを得ない理由により、総会の開催が困難なときは、総会の開催を中止し、理事会の決議を以て総会の決議にかえることができる。この場合は、機関誌（会報）及びホームページでの事業報告をもってかえることができる。また、必要に応じて臨時総会を開くことができる。</u></p> |

京都学園大学・京都先端科学大学同窓会会則（案）新旧対照表

| 現行 | 改正案 | 備考欄 |
|---|---|-------------|
| <p>第1章 総則</p> <p>(名称)</p> <p>第1条 本会は、京都学園大学・京都先端科学大学同窓会（以下「本会」という。）と称する。</p> <p>(目的)</p> <p>第2条 本会は、会員相互の親睦を図ると共に、母校<u>京都学園大学</u>及び<u>京都先端科学大学</u>の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>(事業)</p> <p>第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。</p> <p>(1) 機関紙（会報）の発行</p> <p>(2) 会員名簿の管理</p> <p>(3) 講演会その他諸集会の開催</p> <p>(4) その他本会の目的を達成するために必要な事業</p> <p>(事務所)</p> <p>第4条 本会の事務局を京都先端科学大学内に置く。</p> <p>(支部)</p> <p>第5条 本会は必要に応じ支部を置く。</p> <p>2 支部に関する規定は、別にこれを定める。</p> | <p>第1章 総則</p> <p>(名称)</p> <p>第1条 本会は、京都学園大学・京都先端科学大学同窓会（以下「本会」という。）と称する。</p> <p>(目的)</p> <p>第2条 本会は、会員相互の親睦を図ると共に、母校の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>(事業)</p> <p>第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。</p> <p>(1) 機関紙（会報）の発行</p> <p>(2) 会員名簿の管理</p> <p>(3) 講演会その他諸集会の開催</p> <p>(4) その他本会の目的を達成するために必要な事業</p> <p>(事務所)</p> <p>第4条 本会の事務局を京都先端科学大学内に置く。</p> <p>(支部)</p> <p>第5条 本会は必要に応じ支部を置く。</p> <p>2 支部に関する規定は、別にこれを定める。</p> | <p>(削除)</p> |

京都学園大学・京都先端科学大学同窓会会則（案）新旧対照表

| 現行 | 改正案 | 備考欄 |
|---|---|-----|
| <p>第2章 会員 （会員の構成）</p> <p>第6条 本会の会員は、正会員、準会員、特別会員及び名誉会員の4種とする。</p> <p>2 正会員は、次の各号のとおりとする。</p> <p>（1）京都学園大学及び京都先端科学大学各学部を卒業した者並びに京都学園大学及び京都先端科学大学大学院を修了した者</p> <p>（2）京都学園大学及び京都先端科学大学各学部並びに京都学園大学及び京都先端科学大学大学院に在籍した者で、理事会が承認した者</p> <p>3 準会員は、京都先端科学大学各学部及び京都先端科学大学大学院の在籍者</p> <p>4 特別会員は、京都学園大学及び京都先端科学大学の現旧教職員</p> <p>5 名誉会員は、本会に特別の関係ありと認め、理事会が推薦し総会で承認された者</p> <p>（会員資格の喪失）</p> <p>第7条 会員が次に掲げる事由に該当するときはその資格を喪失する。</p> <p>（1）死亡</p> <p>（2）退会を申し出て、理事会で承認されたとき。</p> <p>（3）本会の名誉を毀損した者、本会の目的に違反する行為があった者で、理事会において除名を議決されたとき。</p> | <p>第2章 会員 （会員の構成）</p> <p>第6条 本会の会員は、正会員、準会員、特別会員及び名誉会員の4種とする。</p> <p>2 正会員は、次の各号のとおりとする。</p> <p>（1）京都学園大学及び京都先端科学大学各学部を卒業した者並びに京都学園大学及び京都先端科学大学大学院を修了した者</p> <p>（2）京都学園大学及び京都先端科学大学各学部並びに京都学園大学及び京都先端科学大学大学院に在籍した者で、理事会が承認した者</p> <p>3 準会員は、京都先端科学大学各学部及び京都先端科学大学大学院の在籍者</p> <p>4 特別会員は、京都学園大学及び京都先端科学大学の現旧教職員</p> <p>5 名誉会員は、本会に特別の関係ありと認め、理事会が推薦し総会で承認された者</p> <p>（会員資格の喪失）</p> <p>第7条 会員が次に掲げる事由に該当するときはその資格を喪失する。</p> <p>（1）死亡</p> <p>（2）退会を申し出て、理事会で承認されたとき。</p> <p>（3）本会の名誉を毀損した者、本会の目的に違反する行為があった者で、理事会において除名を議決されたとき。</p> | |

京都学園大学・京都先端科学大学同窓会会則（案）新旧対照表

| 現行 | 改正案 | 備考欄 |
|---|---|---|
| <p>第3章 役員 (役員構成)</p> <p>第8条 本会に、次の役員をおく。</p> <p>(1) 会長 1名 (2) 副会長 3名 (3) <u>理事</u> 若干名 (4) <u>常任理事</u> 若干名 (5) <u>会計理事</u> 2名 (6) 監事 2名 (7) 顧問 若干名</p> <p><u>(追加)</u></p> <p>(役員選出と職務)</p> <p>第9条 役員選出及び職務は、次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) <u>会長</u>は、理事のうちから選出し、この会を代表し会務を総括する。</p> <p>(2) <u>副会長</u>は、理事のうちから会長が委嘱し、会長事故あるときは会務を代行する。</p> <p>(3) <u>理事</u>は原則、各年次の卒業生のうちから選出し、この会の会務を決議する。</p> <p>(4) <u>常任理事</u>は、理事のうちから選出し、この会の会務を執行する。</p> <p>(5) <u>会計理事</u>は、理事のうちから選出し、この会の財務を管理す</p> | <p>第3章 役員 (役員構成)</p> <p>第8条 本会に、次の役員をおく。</p> <p>(1) 会長 1名 (2) 副会長 3名 (3) <u>会計理事</u> 2名 (4) <u>理事</u> 原則、各学年1名ないし2名 (5) <u>常任理事</u> 若干名 (6) 監事 2名 (7) 顧問 若干名</p> <p><u>2 役員は本会及び支部の役員を兼任することはできない。ただし、前項第4号及び第7号を除くものとする。</u></p> <p>(役員選出と職務)</p> <p>第9条 役員選出及び職務は、次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) <u>理事</u>は原則、各年次の卒業生のうちから選出し、この会の会務を決議する。</p> <p>(2) <u>会長</u>は、理事のうちから選出し、この会を代表し会務を総括する。</p> <p>(3) <u>副会長</u>は、理事のうちから会長が委嘱し、会長事故あるときは会務を代行する。</p> <p>(4) <u>会計理事</u>は、理事のうちから選出し、この会の財務を管理する。</p> <p>(5) <u>常任理事</u>は、理事のうちから選出し、この会の会務を執行す</p> | <p>(入れ替え) (変更) (繰り下げ)</p> <p>(追加)</p> <p>(入れ替え) (繰り下げ) (繰り下げ) (入れ替え) (繰り下げ)</p> |

京都学園大学・京都先端科学大学同窓会会則（案）新旧対照表

| 現行 | 改正案 | 備考欄 |
|---|---|---|
| <p>る。</p> <p>(6) 監事は、会長が委嘱し、<u>この会の財務を監査する。</u></p> <p>(7) 顧問は、これを会員の中から会長が委嘱し、必要あるとき相談にあずかるものとする。</p> <p>(役員任期)</p> <p>第10条 役員任期は、4年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>2 やむをえない事情の場合、理事会の承認をえて退任することができる。</p> <p>3 任期終了後も次の役員決定までは、その職にあるものとする。</p> <p>4 補欠による役員任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p><u>(追加)</u></p> | <p>る。</p> <p>(6) 監事は、会長が委嘱し、<u>次の職務を行う。</u></p> <p style="padding-left: 2em;"><u>ア 財務を監査する。</u></p> <p style="padding-left: 2em;"><u>イ 業務執行の状況を監査する。</u></p> <p style="padding-left: 2em;"><u>ウ 監査の結果、不正の疑いのある事項を発見したときは、直ちに会長に報告し、常任理事会の招集を求める。</u></p> <p>(7) 顧問は、これを会員の中から会長が委嘱し、必要あるとき相談にあずかるものとする。</p> <p>(役員任期)</p> <p>第10条 役員任期は、4年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>2 やむをえない事情の場合、理事会の承認をえて退任することができる。</p> <p>3 任期終了後も次の役員決定までは、その職にあるものとする。</p> <p>4 補欠による役員任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p><u>(役員解任)</u></p> <p>第11条 <u>役員が、次の各号のいずれかに該当するときは、常任理事会において、常任理事の議決により、会長がこれを解任することができる。この場合、その役員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。</u></p> <p style="padding-left: 2em;"><u>(1) 心身の不調のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。</u></p> <p style="padding-left: 2em;"><u>(2) 職責上の義務違反、その他役員としてふさわしくない行為が認められるとき。</u></p> | <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> |

京都学園大学・京都先端科学大学同窓会会則（案）新旧対照表

| 現行 | 改正案 | 備考欄 |
|---|---|--|
| <p>第4章 会議 (会議)</p> <p><u>第11条</u> 本会の会議は、次の通りとする。</p> <p>(1) 総会 (2) 理事会 (3) 常任理事会 (4) 支部長会</p> <p>(会議の招集、議長)</p> <p><u>第12条</u> 会長は会議を召集し、それぞれの議長となる。</p> <p><u>2</u> 会長に事故ある時は副会長が、これにあたる。</p> <p>(会議の成立)</p> <p><u>第13条</u> 理事会及び常任理事会の成立は、それぞれの会議構成員の過半数の出席によるものとし、総会については、総会開催通知による当日の出席者をもって成立するものとする。</p> <p>(会議の議決)</p> <p><u>第14条</u> 議事は出席者の過半数を以て決し、可否同数のときは議長がこれを決する。</p> <p><u>2</u> 重要事項に関する議事に関しては、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。</p> | <p>第4章 会議 (会議)</p> <p><u>第12条</u> 本会の会議は、次の通りとする。</p> <p>(1) 総会 (2) 理事会 (3) 常任理事会 (4) 支部長会</p> <p>(会議の招集、議長)</p> <p><u>第13条</u> <u>総会は会長が招集し、総会の議長は出席の正会員の中から選出する。</u></p> <p><u>2</u> <u>その他の会議は会長が招集し、議長となる。</u></p> <p><u>3</u> <u>会長に事故ある時は副会長が、これにあたる。</u></p> <p>(会議の成立)</p> <p><u>第14条</u> 理事会及び常任理事会の成立は、それぞれの会議構成員の過半数の出席によるものとし、総会については、総会開催通知による当日の出席者をもって成立するものとする。</p> <p>(会議の議決)</p> <p><u>第15条</u> 議事は出席者の過半数を以て決し、可否同数のときは議長がこれを決する。</p> <p><u>2</u> 重要事項に関する議事に関しては、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。</p> | <p>(以降、繰り下げ)</p> <p>(追加)</p> <p>(修正)</p> <p>(修正)</p> |

京都学園大学・京都先端科学大学同窓会会則（案）新旧対照表

| 現行 | 改正案 | 備考欄 |
|--|---|-------------------------|
| <p>(会議の議事録)</p> <p><u>第15条</u> 会議には議事録を作成し、議長及び議長が指名した出席者代表2名が署名押印し、事務局に保管するものとする。</p> <p>(総会)</p> <p><u>第16条</u> 総会は、本会の最高議決機関であって、会則の変更について審議し、決議する。</p> <p>2 総会は、正会員で組織し、定時総会及び臨時総会とする。</p> <p>3 定時総会は、本会会報及びその他の方法で周知し、毎年1回開催するものとする。</p> <p>4 臨時総会は、理事会において必要と認めるとき開くことができる。</p> <p>5 定時総会は、理事会の決議事項の報告を受け、承認する。</p> <p>6 定時総会においては、会員交流並びに会員の文化、福祉等の向上を図る事業を実施することができる。</p> <p><u>(追加)</u></p> | <p>(会議の議事録)</p> <p><u>第16条</u> 会議には議事録を作成し、議長及び議長が指名した出席者代表2名が署名押印し、事務局に保管するものとする。</p> <p>(総会)</p> <p><u>第17条</u> 総会は、本会の最高議決機関であって、会則の変更について審議し、決議する。</p> <p>2 総会は、正会員で組織し、定時総会及び臨時総会とする。</p> <p>3 定時総会は、本会会報及びその他の方法で周知し、毎年1回開催するものとする。</p> <p>4 臨時総会は、理事会において必要と認めるとき開くことができる。</p> <p>5 定時総会は、理事会の決議事項の報告を受ける。</p> <p>6 定時総会においては、会員交流並びに会員の文化、福祉等の向上を図る事業を実施することができる。</p> <p><u>7 大規模災害その他のやむを得ない理由により、総会の開催が困難なときは、総会の開催を中止し、理事会の決議を以て総会の決議にかえることができる。この場合は、機関誌（会報）及びホームページでの事業報告をもってかえることができる。また、必要に応じて臨時総会を開くことができる。</u></p> | <p>(修正)</p> <p>(追加)</p> |

京都学園大学・京都先端科学大学同窓会会則（案）新旧対照表

| 現行 | 改正案 | 備考欄 |
|--|--|-----|
| <p>(4) その他会務の執行に関する重要事項</p> <p>(支部長会)</p> <p><u>第19条</u> 支部長会は、本会の諮問機関とする。</p> <p>2 支部長会は必要により会長が招集して、支部の意見を聴き、本会の運営に反映させる。</p> <p>第5章 会計</p> <p>(会計年度)</p> <p><u>第20条</u> 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。</p> <p>(経費)</p> <p><u>第21条</u> 本会の経費は会費、寄付金その他の収入をもってこれに充てる。</p> <p>(会費)</p> <p><u>第22条</u> 正会員は、会費を納入しなければならない。</p> <p>2 正会員の会費は25,000円とし、終身会費とする。</p> <p>3 準会員は、各学部においては第4年時、大学院においては第2年時にそれぞれ納入し、卒業時にこれをもって終身会費に充てる。</p> <p>4 既納の会費は返還しない。ただし、準会員で退学・除籍等になった者から申し出があった場合には、これを返還することができる。</p> <p>5 会費を納入していない会員は、会員としての権利を行使できな</p> | <p>(4) その他会務の執行に関する重要事項</p> <p>(支部長会)</p> <p><u>第20条</u> 支部長会は、本会の諮問機関とする。</p> <p>2 支部長会は必要により会長が招集して、支部の意見を聴き、本会の運営に反映させる。</p> <p>第5章 会計</p> <p>(会計年度)</p> <p><u>第21条</u> 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。</p> <p>(経費)</p> <p><u>第22条</u> 本会の経費は会費、寄付金その他の収入をもってこれに充てる。</p> <p>(会費)</p> <p><u>第23条</u> 正会員は、会費を納入しなければならない。</p> <p>2 正会員の会費は25,000円とし、終身会費とする。</p> <p>3 準会員は、各学部においては第4年時、大学院においては第2年時にそれぞれ納入し、卒業時にこれをもって終身会費に充てる。</p> <p>4 既納の会費は返還しない。ただし、準会員で退学・除籍等になった者から申し出があった場合には、これを返還することができる。</p> <p>5 会費を納入していない会員は、会員としての権利を行使できな</p> | |

京都学園大学・京都先端科学大学同窓会会則（案）新旧対照表

| 現行 | 改正案 | 備考欄 |
|--|---|-------------|
| <p>い。</p> <p>第6章 事務規定 (事務局)</p> <p><u>第23条</u> 本会に事務局を置く。</p> <p>2 本会の事務を処理するため必要がある時は、嘱託をおくことができる。その手当ては、会長が理事会の議を経て決定する。</p> <p>(財産の管理)</p> <p><u>第24条</u> 本会の財産は理事会がこれを管理する。</p> <p>(役員の報酬)</p> <p><u>第25条</u> 役員はすべて無報酬とする。</p> <p>(帳簿)</p> <p><u>第26条</u> 本会には次の帳簿を備えなければならない。</p> <p>(1) 会員名簿 (2) 会計帳簿 (3) その他必要な帳簿</p> <p>(住所変更)</p> <p><u>第27条</u> 本会員は住所、氏名、職業、勤務先等一身上の変更を生じたときは速やかに書面にて、本部まで通知しなければならない。</p> | <p>い。</p> <p>第6章 事務規定 (事務局)</p> <p><u>第24条</u> 本会の<u>庶務を処理するために、会長の下に事務局を置く。</u></p> <p>2 本会の事務を処理するため必要がある時は、嘱託をおくことができる。その手当ては、会長が理事会の議を経て決定する。</p> <p>(財産の管理)</p> <p><u>第25条</u> 本会の財産は理事会がこれを管理する。</p> <p>(役員の報酬)</p> <p><u>第26条</u> 役員はすべて無報酬とする。</p> <p>(帳簿)</p> <p><u>第27条</u> 本会には次の帳簿を備えなければならない。</p> <p>(1) 会員名簿 (2) 会計帳簿 (3) その他必要な帳簿</p> <p>(住所変更)</p> <p><u>第28条</u> 本会員は住所、氏名、職業、勤務先等一身上の変更を生じたときは速やかに書面にて、本部まで通知しなければならない。</p> | <p>(修正)</p> |

